

中国日本商会

みつま

三瀦先生の 「ナルホド中国、ナットク中国」



三瀦コラム 中国「津津有味」-31

中国人が日本や日本人をどう思っているかを推測した項目では、48.4%、つまり、半数近くの人が、中国人は日本や日本人の好印象を持っていると捉えています。その根拠を「日本文化に対する興味や憧れ」と捉えている人が多く、また、そう感じる直接の理由として、自分が接触している中国人に親日家が多いこと、特に日本で接触する中国人から、日本留学者が多い、在日中国人はいい人、と感じている人も少なくないのです。日本に来ている人は日本に関心がある人たちが来ているのであって、それを中国人全体として捉えるのは、論理の飛躍ですが、中国に行かなければそれしか実体験がないわけですから、無理もありません。

彼らは日本や日本人にマイナスイメージを持っているだろう、と推測する人も42%とほぼ拮抗しています。その理由としては、反日感情が強い、日本に厳しく自国に甘い、過去の話を持ち出す、などと言った項目が並んでおり、中国に対するメディアの報道などを通じた印象の影響を強く感じさせます。

ちょっとショッキングなのが、中国人の性格に関する感想で、なんと、プラスイメージは0%、マイナスイメージ27%、そして其の他が73%という数字です。ただ、このアンケートは、こちらが質問項目を細かく設定しての調査ではなく、中国及び中国人について3~4人ずつのグループディスカッション形式で約20分、自由に語ってもらい、それを集めて集計したものですから、その点は考慮する必要があります。それにしても中国人の性格を論ずる時にプラスイメージ0%は中国人の方はショックを受けるかもしれません。どうしてそうなのか、謎解きをしましょう。

何年前か、大学の中国語学科3年生60人ほどに質問項目を用意したアンケートを取ったことがあります。その中に、中国人の性格でよいと思う点を三つ、良くないと思う点を三つ挙げてください、という項目を用意しました。その時、よいと思う点のトップは、「自分の意見をどんどん主張する」でした。良くないと思う点のトップは「自分の意見を遠慮なしにどんどん言う」でした。中国語学科の3年生ですから、留学を経験した者も多く、留学先で中国人学生との共同生活も体験しています。話を聴いてみると、よいと思った学生も、最初は気おされて違和感を感じたが、そのうち羨ましくなったようです。

今回のアンケートでマイナスイメージに取った人の理由は、自信過剰、横柄、すぐ怒る、語気が強い、自己中心、見栄っ張り、といった理由ですが、どちらとも言えないという感想を示した残り73%の人の理由は、自己主張が強い、周りを気にしない、おしゃべりが好き、したたか、といった項目が上位を占めました。これらの結果から浮かび上がるのは、日本人とまったく違う文化を持った中国人に接して、どう対応していいかわからず戸惑っている日

中国日本商会

みつま

三渚先生の 「ナルホド中国、ナットク中国」



本人の姿です。質問項目を設けずに感じたままに感想を出してもらおうとこうなるのですが、学生に対して行ったように「長所を発掘してください」と持ちかけると、長所という視点で見直す観点が生じる、ということです。まさに、日本のマスコミを含めた中国観にかけている視点と言えましょう。その意味では、中国人の性格の長所と短所、というテーマで二手に分かれてディベートを試みるのもよい試みかもしれません。